

春種ワークショップ 特別企画

ハーブ類の お手軽セルトレイ栽培!

タキイ研究農場
ますだ こうじ
増田 晃士



最近、直売所やスーパーには数多くの野菜が並ぶようになり、その中には料理の香りづけとして使用されるハーブ類も目につくようになってきました。

特に、ここ数年女性を中心にコリアンダー(パクチー)ブームになっていて、店頭での販売だけでなく直売所向けや家庭菜園でハーブを栽培したいという方が増えてきています。

今回は、直売所や家庭菜園向けに多品目のハーブを少量栽培するのに適した「セルトレイ育苗」や手軽にできる「トレイ栽培」について、コリアンダーやディル、カモミールを中心に紹介します。

{ 今回の栽培におすすめのハーブは… }



↑コリアンダー(パクチー)。



↑ディル。



↑カモミール。



↑チャイブ。



↑レモンバーム。

ほかには、バジル、クレソンなど

直売所で高品質のハーブを出荷!

セルトレイ育苗



ハーブ栽培において畑やプランターに直まきする場合、環境条件によって発芽のバラつきや生育ムラが発生することがあります。

しかし、セルトレイで作った苗を定植すれば、発芽や生育

不良の心配は少なくなり、確実な栽培につなげることができ
ます。また、1トレイで数種類のハーブ苗を同時に作ることも可能です。

①播種準備

セルトレイは128~200穴トレイを使用します。使用する土は、追肥しなくても苗が仕上がる「タキイたねまき培土」のように肥料が多く含まれた清潔な培土がおすすめです。



←
用意するもの。左から時計回りに「たねまき培土」、セルトレイ、じょうろ、ハーブ種子、パーミキュライト。

②播種作業

トレイに土を詰めて、底穴から軽く水が出る程度に水やりし、1穴ごとに指の腹で軽く押し込んだ後、播種していきます。

コリアンダーのように比較的大きな種子なら1穴当たり2~3粒、小さな種子は4~5粒が目安です。



↑コリアンダーのように大きな種子は手まきする。



↑ディルなど小さな種子は「カリカリくん」を使ってお勧めの播種がおすすめ。



←
「カリカリくん」がない場合はハガキなどの厚紙を二つ折りにしてタネを載せピンセットで1粒ずつまく。

こんな商品もおすすめ! 「そのまんま おてがる菜園セット」

セルトレイと底面給水パットと園芸培土、防虫ネットがセットになったセルトレイ栽培スターターキット。ベビーリーフやハーブのトレイ栽培が初めての方にぴったり。*種子は別途お求めください。



タネまきの救世主! ハンディタネまきツール「カリカリくん」登場!

通常、小さい種子や指でつまみにくい種子をまく場合、ハガキサイズの紙を折ったものに種子を載せてピンセットや爪楊枝などを使用して行います。

そんな中、今回タキイからトマト、レタス、ペチュニアまで幅広く使用できる播種器具「カリカリくん」が発売されました。

20年以上研究農場で使用されている播種器具を元に開発した商品で、ハーブのような細かくて小さい種子も簡単にまくことができますので、ぜひご活用ください。

*「カリカリくん」「そのまんまおてがる菜園セット」のお求めはお近くの園芸店、種苗店にて。



↑ビオラなど細かい草花種子のタネまきにも!

←
1日100トレイ以上タネをまくこともある私も愛用の、タネまきツール「カリカリくん」。

③覆土



播種後はパーミキュライトなどで覆土し、湿る程度に灌水してください。
覆土量の目安は、小さい種子なら隠れる程度に薄めで、大きな種子なら種子の3倍程度の厚さとします。



↑覆土(左:厚め、右:薄め)



↑覆土後、セルトレイの下が少し湿る程度に軽く灌水する。



④発芽まで

発芽するまではトレイ表面が乾かないように日陰で管理し、できるだけ灌水を行わないようにします。もし、表面が乾いた場合は、覆土が湿る程度に軽く灌水します。

水のやり過ぎは発芽不良の原因になりますので、発芽するまでは過湿にならないように注意してください。



↑トレイ表面に新聞紙をかぶせ乾燥を防ぐ。

⑤灌水管理

発芽し始めたら日当たりと風通しのよい場所へ移動し、水だけで苗を上げていきます。発芽初期の急激な乾燥や過湿に注意しましょう。



↑発芽の様子、ディル。



↑カモミール。

⑥間引き

生育がすすんで葉が1枚以上になり、1穴に3～5本生えているようなら、ピンセットやハサミで1～2本に間引きしてください。



↑ペパーミント。



↑バジル。

⑦定植まで

ハーブの種類によって異なりますが、およそ播種して3～4週間ほどでトレイ内の根が回り、定植できる苗になりますので畑やプランター、鉢に定植します。

定植適期



↑チャイブ。



↑カモミール。



↑コリアンダー。



ご家庭でセルトレイを使って収穫までできるお手軽栽培

セルトレイ栽培



大きな穴のセルトレイを使用すれば、トレイのまま栽培して収穫することが可能です。

50～72穴トレイに播種し、生育中盤から底面給水パットを使用して栽培します。発芽までの作業はセルトレイ育苗(①～④参照)。

間引きと灌水管理

基本は間引きしませんが、大きく育てたい場合は4本以上生えている株を3本以下に間引きしてください。

1穴当たりの培土量が多いので生育初期は過湿になりやすくなります。本葉2枚目までは頭上灌水を行い、それ以降は底面給水パットに水をためて栽培します。



↑コリアンダー、バジル、クレソンの3種まき。これぐらいのステージから底面給水を開始(5月23日播種、18日目の苗)。

収穫

播種後1カ月以内には収穫できる大きさになりますので、必要な分だけ切り取ります。収穫時に生長点を切らないようにすれば、さらに1～2週間後には収穫可能です。1回目の収穫が終わりましたら、週に1～2回液肥を底面給水パットに灌注して、生育を維持するようにします。

数回収穫を繰り返すと株が弱ってきますので、株の状態を見て畑やプランターに植え替えるか、栽培を終了するか判断してください。

収穫適期



↑コリアンダー、バジル、クレソン3種まき。播種後26日目収穫可能な大きさに。



← 収穫時のコリアンダーの根。



生長点を切らないように!

← コリアンダーの収穫。

※「ハーブのセルトレイ栽培」を解説した動画をタキイホームページで近日公開予定。(2018年2月下旬ごろ)